

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機（342））

2. 日時：令和2年7月7日 16時20分～17時15分

3. 場所：原子力規制庁 8階D会議室

4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

植木主任安全審査官、津金主任安全審査官、宇田川安全審査官、

服部安全審査専門職

事業者：

中国電力株式会社 電源事業本部 担当部長 他9名※

5. 要旨

(1) 中国電力株式会社から、島根原子力発電所2号炉の設置許可基準規則等への適合性のうち、「4条 地震による損傷の防止」について、7月7日の提出資料に基づき説明があった。

(2) 原子力規制庁から、主に以下の点について説明等を求めた。

【機器・配管系に係る論点のうち機器・配管系への制震装置の適用】

- 「添付資料3-9 三軸粘性ダンパを設置した配管系の地震応答解析手法」について、「モード解析を用いて、モード空間での連成した運動方程式に対して時間積分を行う方法」が独特と考えられるので、本手法に関する文献があれば引用元として説明すること。
- 「添付資料3-9 三軸粘性ダンパを設置した配管系の地震応答解析手法」における「三軸粘性ダンパの減衰性能を解析モデルへ反映して解析を行う方法」について、「減衰マトリクス[C]が対角化できず、モード空間での連成した運動方程式になる場合でも運動方程式の解を求めることができる」としている根拠を整理して説明すること。

(3) 中国電力株式会社から、本日説明等を求められた内容について了解した旨の回答があった。

6. その他

関係資料：なし